

報 館 おかだ

令和8年9月1日現在
世帯数 : 3,468 戸
男 人 : 3,621 人
女 人 : 3,778 人
計 人 : 7,399 人

みんなの力で
大盛況
おかだ夏まつり!

昨年はゲリラ豪雨で中止に追い込まれた夏まつりでしたが、その無念さを吹き飛ばすかのようにおかだ夏まつりが

7月25日(土)、岡田公民館前の広場で開催されました。岡

田小学校、女鳥羽中学校の吹奏楽や岡田太鼓、消防団などの演奏で幕を開け、各ブースも大盛況。子どもから大人まで、大勢の地域の皆さんが集まり、最後まで大いに盛り上がりました。

今回は各ブースから、夏まつり当日の様子についてお伝えします。

山浦 今年も定番の『かき氷』で参加しました。

今年も大変な暑さとなり、開店と同時に大勢の人が列を作りました。途中で4本も追加したシロップもすべて使い切り、約470個を完売して終了しました。各町会のテントの様子を見る暇もない大忙しで大成功、皆様大変ありがとうございました。

伊深 フランクフルトの販売を行いました。あらかじめボイルしておいたものを会場の鉄板で焼いて販売しました。

販売開始前から行列ができて、800本用意したフランクフルトは、午後7時頃には完売となりました。



岡田町 販売品のメインは毎年大人気! やきとりです。焼き火の熱さもさることながら

もくもくと立ち込める煙が目にしみて痛くて、痛くて。それでも頑張つて焼いたかいあつて3600本の「やきとり」は早々に完売!

美味しい! のたぐさんの笑顔に会うことができました。

東区 ヨーヨーつりとスーパールボールすくい、子どもたちに大人気で長い行列ができて、笑顔があふれていました。

塩倉 綿あめを販売しました。準備の段階で設置した温度計は40℃を超えても暑かったです。

3台ある機械の内1台が壊れるアクシデントがありました。



た。材料が終わり295個完売でした。

高齢化や暑さ対策が今後の課題になりそうです。

神沢 神戸ドーナツを販売しました。

プレーン&キャラメル、シナモン&チョコレートを組み合わせて2個ずつのセットにしました。どちらも300円。小腹をすかせた子どもたち

に大人気でした。

松岡 夏まつりの出店は例年通り「生ビール」「焼きとうもろこし」「もつ煮」の3種類です。予定数量は生ビール500杯、

焼きとうもろこし400本、もつ煮200杯でしたが、すべて完売いたしました。



ました。焼きとうもろこしともつ煮は火を使うので暑くて大変でしたが、交代で調理を行い頑張りました。

短時間でお客様が大勢いらつしゃったので、てんてこ舞いでした。

「恒例の花火」今年もJ A虹のホール近くから打ち上げられました。

新築して岡田に越してきたご家族は初めての夏まつりで、はしゃぐ子どもたちと一緒に花火を楽しみ、「玄関先から大きな花火が見られてよかったです。いい花火でした。」と笑顔で話していました。

岡田ぼっとニュース

深刻化する鹿の被害

山 浦

山浦地区では、今年は鹿の被害が今まで以上に深刻となっています。野菜への被害は今までにもあり、農家では防獣ネットを張り対策をしてきました。それでもネットを飛び越えて内側に入り、食害や踏み荒らしが発生しています。

しかし昨年あたりからは、田植えした後の稲に食害が発生。まだ若い苗は柔らかいので絶好の食物として目をつけられてしまったのです。それでも山際の一部だけの被害でしたが、今年になってその被害が拡大してしまつたのです。

安土池の下のほとんどの田んぼで、防獣ネットを張り巡らさなければならなくなっています。それでも夜になると鹿が山から下りてくるので、夜回りをしたり、照明をつけたり、重機やトラックを置いたり、ラジオを一晩中つけたりと大変な苦勞をして対策をしています。

そしてその防獣ネットは安



食害で荒らされた田んぼ

土池の下側だけでなく、国道を超えて西側にも張られています。収穫時期を迎え鹿が田んぼに入り、まるで運動会でもしたかのように、はたまたミステリーサークルのように踏み荒らされ、泥だらけにされてしまいます。そうなるバインダーでの刈り取り、収穫作業がとても困難になってしまいます。

猟友会でもだいぶ頑張つて捕獲をしているようですが、鹿の繁殖力の方が上回っているようです。地域での対策は限界となつてきています。行政でも本格的な対策を考えてほしいと思います。

山際で自家用に果樹栽培をしている畑では、ブドウ、リンゴ、サクランボやタラの芽、サルナシなども柔らかい新芽を食べられてしまいました。自家用なので費用のかかる対策はできません。どうしたものかと本当に困り果てています。

(山浦 伊藤 和則)

人形劇で七夕会を楽しむ

7月11日(土)、岡田児童センターで七夕会が開かれ、約40人の子どもたちが参加しました。諏訪市の人形劇団「赤とんぼ」による人形劇では、天狗



やだるまが登場し、子どもたちは笑顔いっぱい。山田館長から「短冊の願いが叶うといいですね」と言葉が送られました。

(東区 小林 秀行)

川で遊ぼう！ 子ども会育成会共催

8月22日(土)、岡田地区子ども会育成会と岡田公民館共催の「川で遊ぼう！」を洞地籍の女鳥羽川で8時30分から行いました。定員は40名でしたが10人増えて50名の参加となり、役員の方々

は20名で総勢70名の参加となりました。

10時ごろからジマスのつかみ取りを行い、捕まえた魚は串にさして塩焼きにして食べました。子どもたちは大喜びで虫を採ったり川に入りエビを捕まえたりして楽しんでいました。最後にスイカ割りをして楽しみました。

役員の皆様、暑い中大変ご苦勞様でした。

(松岡 大沢 隆)



わが家には子どもが四人います。長女、長男、そして双子。朝はいつも、小さな運動会のようなにぎやかさです。

「ハンカチがない」「靴下が片方しかない」。玄関先では、たいてい誰かが何かを探しています。返事をしながら、どうせ明日も同じことを言うんだろうな、と思います。

双子が生まれたばかりの頃のことは、正直あまり覚えていません。抱っこして、寝かせて、また起きて。夜と朝の境目がわからないまま日が過ぎていきました。

生活雑記

靴下を探す朝

塩倉 百瀬 美寿寿

もしあの頃の自分に会えるなら、「そのうち朝はちゃんと来るよ」とだけ伝えたい気がします。

最近おもしろいのは、上の二人が下の二人の世話を焼くようになったことです。世話といっても口の方

でもらっているのかもしれない。外を歩いていると、近所の方が「大きくなったねえ」と声をかけてくださいます。毎日見ているとわからないもので、そう言われてはじめて、ああ大きくなったのか、と思います。見ていてくださる方がいるというのは、それだけであたたかいものです。

いつか、この騒がしさや懐かしくなる日が来るのでしょう。それまでは、今日もまた、片方だけの靴下を探すところから一日を始めます。